

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公表番号】特表 2018-527407 (P2018-527407A)

【公表日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2018-530677 (P2018-530677)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| A 6 1 K | 31/734 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/10 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/12 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 1/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 27/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 13/12 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 11/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/10 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 21/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/444 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/36 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|-------|
| A 6 1 K | 31/734 | |
| A 6 1 P | 9/10 | |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 2 1 |
| A 6 1 P | 9/00 | |
| A 6 1 P | 9/12 | |
| A 6 1 P | 1/00 | |
| A 6 1 P | 25/00 | |
| A 6 1 P | 27/02 | |
| A 6 1 P | 29/00 | |
| A 6 1 P | 31/04 | |
| A 6 1 P | 19/02 | |
| A 6 1 P | 13/12 | |
| A 6 1 P | 11/00 | |
| A 6 1 P | 3/10 | |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 0 5 |
| A 6 1 P | 19/00 | |
| A 6 1 P | 21/00 | |
| A 6 1 K | 31/444 | |
| A 6 1 K | 47/36 | |

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 18 日 (2019.12.18)

【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

N, N, N', N' - テトラキス - (2 - ピリジルメチル) - エチレンジアミン (T P E N) 又はその医薬的に許容可能な塩と、アルギネート化合物と、医薬的に許容可能な担体からなる、医薬組成物。

【請求項２】

前記アルギネート化合物がアルギニン酸ナトリウムである、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項３】

前記アルギネート化合物の平均分子量が約 10 ~ 約 300 k D a である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項４】

前記アルギネート化合物の平均分子量が約 10 ~ 約 50 k D a である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項５】

前記医薬組成物中の前記アルギネート化合物の濃度が約 0 . 1 ~ 約 10 % (w / v) の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項６】

前記医薬組成物中の前記アルギネート化合物の濃度が約 1 ~ 約 4 % (w / v) の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項７】

前記医薬組成物中の前記アルギネート化合物の濃度が約 2 % (w / v) である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項８】

前記医薬組成物中の前記アルギネート化合物の濃度が約 1 % (w / v) である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項９】

前記医薬組成物中の前記 T P E N の濃度が 0 . 1 ~ 100 μ M の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項１０】

前記医薬組成物中の前記 T P E N の濃度が 1 ~ 50 μ M の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項１１】

前記医薬組成物中の前記 T P E N の濃度が 1 ~ 10 μ M の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項１２】

前記医薬組成物中の前記 T P E N の濃度が 3 ~ 5 μ M の範囲である、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項１３】

前記アルギネート化合物が、1 : 1 ~ 3 : 1 の範囲のモノマー比で - L - グルロン酸と - D - マンヌロン酸を含む、請求項１に記載の医薬組成物。

【請求項１４】

虚血再灌流傷害、心臓血管疾患、虚血性心疾患、急性心筋梗塞、心筋低酸素症、虚血性脳状態、虚血性脳卒中、神経変性疾患、黄斑変性症、眼の虚血性症候群、虚血性視神経症 (I O N)、糖尿病性網膜症、及び関節炎からなる群から選択される低酸素関連疾患を治

療するための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか 1 つに記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

急性心筋梗塞を治療するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

虚血性脳卒中を治療するための、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 7】

医薬組成物が、静脈内投与又はカテーテル法によって投与される、請求項 1 4 又は 1 5 又は 1 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 8】

医薬組成物が、静脈内投与によって投与される、請求項 1 5 又は 1 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

静脈内投与が、静脈内注射又は静脈内点滴である、請求項 1 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 0】

前記カテーテル法が、動脈内カテーテル法である、請求項 1 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

治療有効量が約 0 . 1 ~ 約 1 0 m l の範囲である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

治療有効量が約 0 . 5 ~ 約 5 m l の範囲である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

医薬組成物が、動脈内カテーテル法によって投与される、請求項 1 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

医薬組成物が、再灌流の開始、その間、又はその後に投与される、請求項 1 5 又は 1 6 に記載の医薬組成物。